

世界史を動かした日本史 日本史を動かした世界史

—16世紀の世界をめぐる銀—

沖縄県立普天間高等学校 屋良 紋乃

1 はじめに

16世紀はそれまで地域世界で展開していた歴史が、初めて「世界」として一体化し始める時代である。

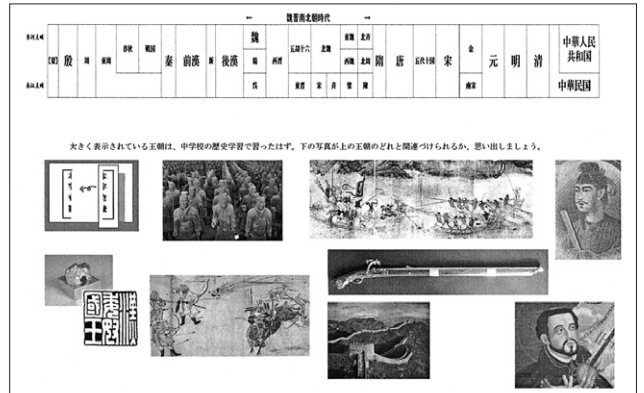
前時代の15世紀にヨーロッパから海を通じてアジアへの直接のアクセスが始まった「大航海時代」は、「黄金・香辛料」へのニーズが起点であった。授業者は「コロンブス」をはじめとする「冒険者」達の活躍を語ることで、生徒達の関心をひくことが多いのではないかな。

だが、16世紀は海で活躍する固有名詞の人物が『新詳世界史B』（以下、教科書）に少ないため、上記のような方法が通用しない。ヨーロッパ側の固有名詞が少ないのはそれだけ多くのヨーロッパ人が活躍していたためだが、教科書に載っている情報のみでは生徒をひきつけることは難しい。よって、経済交流で活躍した「海賊」「倭寇」を、生徒の興味をひく導入の素材の一つとする必要があると考えた。

そこで本稿では、①中学で既習の日本史・中国史と高校の世界史を文化交流の視点で結びつける、②16世紀製作の世界地図に日本が「銀鉱山列島」として登場することと、「鉄砲」「陶磁器」「砂糖」や「ソーマ銀」(=石見銀山産出の銀)「メキシコ銀」などのモノの世界的な流れを関連づけ、さらに③教科書では取り上げられない王直(長崎を拠点に活躍した中国人倭寇)の活動を取り上げる授業を試みた。

2 第一時：中学で既習の日本史を中国史にリンクさせる

私の勤務校では1学年で世界史Bを履修する。中学段階の日本史から無理なく世界史学習へ移行



資料1

するために、生徒の既存の知識をまずは中国史にリンクさせる目的で例年使用しているのが上のプリント(資料1)である。

今回は、16世紀の日本の対外関係をより具体的に物語る鉄砲や倭寇の図を追加している。

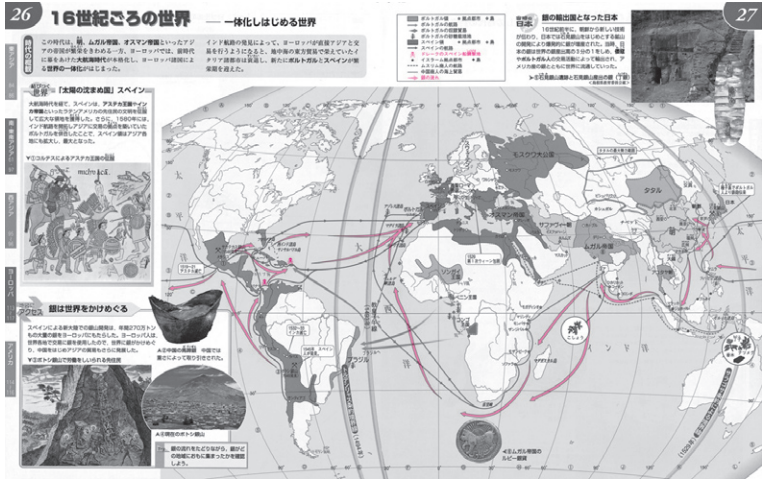
授業ではそれぞれの写真資料について、「これは何(誰)でしょう」「何のために使われましたか」「このときの中国の王朝/日本の時代名は」と発問して、生徒に発言させ、適宜メモをさせる。

今回は中学の既習範囲内で「鉄砲」「フランシスコ=ザビエル」が中国ではなくポルトガルからもたらされたモノ(人)であることを確認して終わる。

3 第二時：「鉄砲・キリスト教伝来」はどのような過程で行われたのか

本時は日本が「プラタレアス(銀)群島」としてヨーロッパに知られるようになったこと、それまでの経緯として15世紀の「大航海時代」と16世紀の「世界の一体化」を連続して扱う。

まず、『明解世界史図説 エスカリエ』(以下、『エスカリエ』)のp.4~37「世界全図で見る世界史」で「世界」に新大陸が登場したのは何世紀なのかを問う。さらにp.198~217「世界史年表」を



『明解世界史図説 エスカリエ』（三訂版）p.26～27

参照させ、日本にヨーロッパから「鉄砲」「キリスト教」が伝来したのはいつの頃かを問う。

生徒達はこれらの問いで、「16世紀」が「世界の定義が変わった時代」かつ「日本がヨーロッパの交易相手となった時代」であることを意識する。

次いで、日本にヨーロッパ人が直接訪れるようになった時代に、日本がヨーロッパにどのように紹介されていたかを次のように問う。

問1 16世紀、ポルトガル人によって日本はヨーロッパに何と紹介されていただろうか。

- ア. 日出ずる処の国
- イ. 黄金の国ジパング
- ウ. プラタレアス（銀）群島

生徒の答えはウがイより若干多いくらいである。

正答とともに、その根拠として、16世紀にオランダ人が製作した地図（資料2）を示す。

さらに、次のように問う。

問2 この地図の銀山は2007年に世界遺産に登録された。銀山の名は？

の地図を使って製作したワークシートで、『エスカリエ』p.114の「大航海時代」を活用する。

15世紀で重要視させたいのは、「黄金の国へのあこがれ」の結果としての新大陸発見と「ポルトガルとスペインの世界分割」である。

これらに注目させることによって16世紀になぜ日本で南蛮貿易が盛んになるのかを、世界史の視点から捉えることができる。

スペイン領となった新大陸や石見銀山からの銀の流れは『エスカリエ』p.26～27（16世紀のページではあるが）の地図に載っている矢印線「銀の流れ」も白地図上に書き写させて、丁寧に動きを追わせ、銀がどこに集まっていったのかを確認させる。

ヨーロッパ～アジア～新大陸間でモノの流れと逆方向に銀が流れていることから、これが「お金」の役割（決済手段）となっていることに気づかせる。

また、p.26～27にある銀の流れには、それをもたらすポルトガル商人とスペイン商人の動きがインド洋や大西洋では大体一致しているのに対し、東シナ海での銀の動きと中国商人の動きが一致していない。このことから、他の誰がこの海の交易に介在していたのかを問題提起する。また、中国人倭寇・王直が「キリスト教伝来」や「鉄砲伝来」にかかわっていたとされていることを紹介し、明の海禁策（または倭寇取締策）と世界史のつながりを示しておく。

さらに、『エスカリエ』p.26に登場するカリブ海の「ドレークのスペイン船襲撃地」に注目させ、ドレークが実在した「カリブ海のパイレーツ」であった

『エスカリエ』のp.26～27を参照させると、石見銀山であることがすぐわかる。

16世紀のヨーロッパで製作された地図では西日本に「銀鉱山王国」の記述があることを補足する。

以上をワークシートにまとめてから、15世紀の大航海時代に遡る。

ここでは『エスカリエ』の「別冊白地図作業帳」

ことも補足して（『エスカリエ』 p.118参照）、生徒の印象に残ることを狙う。

4 第三時：世界を巡る銀（15～16世紀）

ここではモノの流れに注目して、15～16世紀にかけ「ヨーロッパ」「新大陸」「日本」「明」がそれぞれどう変化したのかを学習する。

ワークシートに載せた15、16世紀それぞれの世界地図上（アジア、ヨーロッパの位置を楕円で明示してある）に、『エスカリエ』 p.115の「新しい航路の発見」による「影響」の①、②の貿易品とその流れを書き写させて、15、16世紀を比較する。

さらに、15、16世紀いずれも中国から輸出されるモノが「絹」「陶磁器」であることや、英語の chinaは「陶磁器」を意味することも補足しておく。

次に、各地域がどのような変貌を遂げたかを扱う。

A ヨーロッパ

第二時で銀が大量にヨーロッパに流入していることと、銀が「対価」として、すなわち貨幣としての役割も果たしていることを確認済みなので、物価がどうなったかを生徒は推測できる（＝価格革命）。

教科書p.133の④「商業革命」に加筆したワークシートを用意し、東方貿易の衰退 → ポルトガルとスペインの世界帝国の全盛 → イギリスとオランダの覇権 を、「貿易の担い手が地中海側から大西洋側へ移動」したことを地図で確認したり、「フィリピンの由来」「海賊」「無敵艦隊の敗北」のエピソードに関心をひきながら確認する。

B 新大陸

アジアを目指したはずのコロンブスが付近の島に上陸（教科書p.124②）した15世紀。16世紀にはピサロとコルテスの征服で新大陸のスペイン領が広がり、ポトシ銀山（1545年発見）やメキシコの銀山、サトウキビのプランテーション経営によって、大量の銀と砂糖がヨーロッパになだれ込んだ。

鉱山やプランテーションの労働力として酷使された新大陸の先住民。その犠牲の次は黒人奴隷の導入であった。鉱山で働く者は当時も今もそうだが、働いている間は食事もとらず、ココアの葉を噛んで苦痛を紛らわす。

現在への影響としてラテンアメリカの公用語の

分布と宗教についても触れておく。

C 日本

当時の日本は戦国時代。1543年鉄砲伝来、1549年キリスト教伝来。これらの出来事が天下統一を推進したことはもちろんだが、これらをもたらしたのがポルトガル人であることを確認したのち、石見銀山の銀の産出量がこれを機に急増したことを説明する。

さて、これら大量の銀は丁銀という秤量貨幣となって「大口取引の決済」や「貢納・賞賜用」として用いられる。庶民の手には当然届かなかった。庶民は四角い穴の入った明の銅銭を用いていた。

これらの銀が何の対価として用いられたかを先ほどのワークシートで確認する。

さらに、南蛮貿易で取引された、日本・東南アジア・朝鮮の物産や、介在した商人に「南蛮人」のみならず、「倭寇」や「琉球人」もかかわっていたことを紹介する。

D 中国

教科書p.107～109を活用し、当時の明王朝の様子を外交では「北虜南倭」をキーワードとして、海禁策、勘合貿易、倭寇を再確認する。税制では「物納から銀納へ」というキーワードで導入して、馬蹄銀の写真を提示しながら（教科書p.109④、『エスカリエ』 p.26②参照）、「一条鞭法」を紹介する。

5 最後に

この授業を行ったのは、中国史によりやく入りかけた時期であったため、「中学校で勉強した歴史を基に生徒の興味をひき出す」ことにこだわった。中学校で勉強した歴史を「世界史」に移行させる、私にとっては初めての試みとなった。

また、教科書本文では触れられていない「石見銀山」や「王直」についてどこまで踏み込むのかを直前まで考えてみたが、地図作業を行う過程で銀の産出と流通にかかわっていたことを紹介するにとどめた。

馬蹄銀や丁銀等の「モノ教材」の調達もままならない授業であったため苦心したが、まずは日本史と世界史の橋渡しができる授業にはなったと思う。全国の先生方よりご意見を頂戴したい。